

『コミュニティ活動にご協力
ありがとうございます』

東谷コミュニティ協議会 会長 福田弘彦

日頃、コミュニティ活動に深いご理解と積極的なご協力を賜りありがとうございます。

令和6年度、東谷地域におきましては東谷幼稚園が休園となり、大きな歴史の転換点となりました。

昭和10年4月1日に創立された東谷幼稚園がなくなり、東谷地域の中心地から、幼い子どもたちの声や姿がなくなってしまうのは、この上なく寂しい限りです。

川西市の政策としてやむを得ないのでしたが、東谷地域に暮す私たちには、受け入れがたい事態です。

また「笑顔づく未来へ」のための「私たちのまちづくり」には、0歳～5歳児の保育教育環境を整え、子育て支援をする体制を整えるのは、最優先課題で我々の責務と考えます。

0～5歳児の保育教育環境を整えるためにはどうすればいいのかを考え、行政とも一緒に協力して進めていくには何をすべきかに取り組んでいます。

「コナ禍の影響もなくなりつつある令和7年度は、「東谷市民納涼祭・「東谷市民体育祭」・「東谷市民秋まつり」などの三大大行事も開催いたします。

たくさんの方々の参加をお待ちしております。

また東谷地域の皆さんの生活支援のために「東谷ささえあい交通」や

「東谷まちづくり委員会
の活動報告」東谷まちづくり委員会
委員長 福田弘彦

東谷コミュニティの「東谷まちづくり委員会」及び「コミュニティビネス創生委員会」の活動

状況の報告をいたします。

①「東谷ささえあい交通」(仮称)を実施いたします。



「コミュニティ情報128号」(前号)で報告いたしました通り、3ルート計画の内、●黒川→一庫→下財→山下→笹部→山下駅までの往復ルートで、「コミュニティ」の車で送迎支援を今年の秋から実施いたします。利用希望者の方を4月度に再募集いたします。

令和8年4月からは残り2ルートの、●東畦野山手地区→東畦野地区→畦野駅の往復。

●西畦野→山原→緑が丘→山下駅の往復ルートを運行実施いたします。

『東谷ささえあい交通』(仮称)のネーミングを皆様から募集いたします。

「東谷みみよりネット」もしくは「インフォhigashitani.com」へお願いします。

②「コミュニティ農園」(仮称)を開設いたします。

令和7年4月から、休耕地をコミュニティが借りして、「野菜づくり」「フリースペースでのレクリエーション」を通じて、子ども達や中高生、住民の皆さん一緒に親睦の場を提供いたします。(令和7年3月15日現在)

③「中学生・高校生の放課後の居場所づくり」を実施しました。

中学生・高校生の方から、東谷地区には放課後に自習出来る場所がないという意見、要望があり、探したところ「やわらぎの里東谷」様が、うちの多目的ホール・喫茶をお使い下さいとの申し出を頂き、今年の2月12日から川西北陵高校生が利用しています。

「やわらぎの里 東谷」様に感謝申し上げます。

④「川西市北部地域のまちづくり基本構想案」について。

(1)「東谷幼稚園跡地の就学前の保育教育を求める」については、あくまでも0～5歳児(市案は0～2歳児)が保育教育を受けられる機能の整備を要望しております。

令和6年9月議会に提出した誓願書の8289人の想いを無駄にしないように努めます。

いように努めます。

(2)基本構想案に対するパブコメ(12月24日～1月23日)に49人のご意見と、1月18日のタウンミーティングでの皆さんの意見、「北消防署跡地は駐車場ではなく、多世代交流の場にする」を基に要望してまいります。

⑤「まだまだ働く意欲のあるシニア募集」に39人登録。

令和7年3月末日まで募集させて頂いた「まだまだ働く意欲のあるシニア」に応募頂きありがとうございます。39人の方を登録させていただきました。

第1期説明会が1月に川西市役所で行われました。東谷地区から26人(全計34人)の方に参加いただきました。第2期説明会とコミュニティからのご案内、紹介は近日中に行いますので、よろしく願っています。今後も引き続き、東谷コミュニティの活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



T.yoshi

タウンミーティング

開催される

住んでよかった東谷
と言われるように!!



1月18日(土) 東谷公民館3階
会議室にてタウンミーティング
が開かれました。越田謙治郎川
西市長をはじめ市から数人、地
域の住民が約30人が出席しまし
た。

これは令和6年3月に川西市
北部地域のまちづくり方針に基
づく整備基本構想案が出され、
同地域に住む住民の声も反映さ
せたいという、市の姿勢に基づ
くものと思われます。

エリアとしては現在の北消防
署周辺、旧市立川西病院、北消防
署多田出張所周辺、北消防署移
転予定地などについて説明がな
されました。

北消防署跡地は、駐車場にし
たいという市長の強い希望があ
るようです。東谷幼稚園跡をど
のように用いるかは、市が施設
管理をして民間事業者に貸し付
け「北部ワクワクこども支援棟」
として小規模保育等を構想とし
て挙げていました。

一方参加した市民からは様々

な意見、要望が出され市長はこ
れに丁寧に答えるというスタンス
をとっていました。

主な意見・要望としては、子育
て中の若い女性からは、子ども
を預ける必要がある人の場所が
欲しい、北消防署跡地も駐車場
ではなくワクワクできる暮らし
に役立つ魅力ある場所が欲しい、
0〜2歳児対象の小規模保
育ではなく、0〜5歳児までを
対象とした保育のあり方を検討
して欲しい、高校の部活を民間
の人が協力支援してく、消防署
のある境界は東谷としても中心
的な区域なのでそれに見合った
ものを考えて欲しい、など様々
な意見が出されました。

市長の考えとしては、全市民が
幸福になるよう北部地域に不足
するものは何かということ踏ま
えて考えたいとのことでした。



この季節行ってみよう

黒川里山センター

黒川里山センターは、廃校とな
った旧黒川小学校(南北棟)と、
避難所機能を兼ねた新棟の3つ
の建物からなる施設で、里山の自
然や文化を楽しみながら、人々が



は耐震改修工事を終え、2025
年4月25日にリニューアルオー
ン

東谷散策

四季折々に、近くの公園へ出
かけてみませんか。ちょっと足
をのばせば、自然がいっぱい!
わざわざ遠くにお出かけしな
くても、お弁当を持って、近く
を散策してみませんか。

この原稿を書いているときは、
3月に入ったとは言え、まだ2月



なみ寒
さが続
いてい
ました。
私た
ちが住
んでいる
東谷
地域に



近くにある遊び体験の場

に建てられた趣のある木造建築
です。

地域団体や親子サークル、学
校企業の研修やイベント会場と
して利用できるほか、自然体験や
工作などのイベントも開催して
います。ハイキングの休憩スポッ
トとしても活用できます。

は妙見山の麓を水源とし、トンボ
のヤゴ、トビケラの幼虫などの水
生生物が豊に生命を育んでいる
初谷川が流れています。

また川西市の中でも東谷地域
は自然がたくさん残されており、
自然豊かな生活環境が保たれて
います。

国道173号線から山原や笹
部の住宅地の方に足を延ばして
散策するとまだまだ、田んぼや畑
が広がるなどの田園風景も残さ
れているところがあります。さら
に黒川まで足を延ばせば秋はダ
リア園でダリアを楽しむことも
できます。

休日には、家族で近くの公園な
どにお弁当を持って出かけてみ
るのはいかがですか。

モルツク大会

開催される

令和6年度体育部会最後の行
事として、2月23日(日)に東谷
小学校グラウンドでモルツク大会
を開催しました。

寒さも少し和らいだ日差しの中
で、12組のペアが3コートに分
かれて予選のリーグ戦を行い、
各コートの上位1チームで



決勝戦
を行い
ました。
決勝
戦も同
点で2
チーム
が並び、
サドン
デスの

延長戦に突入するなど、白熱した
ゲームが繰り広げられました。

モルツクをもう何度か経験さ
れている方も多くおられ、地域
スポーツの広がりを感じられま
した。

最後になりましたが、今年度
も体育部会の行事にご理解とご
協力をいただきありがとうございます。
7年度も引き続きよろしくお

願いいたします。

交通安全教室

2月12日(水)東谷小学校体育館で、1年生から4年生までの児童370人を対象に交通安全教室が開催されました。



この教室では池田レンジャーによる寸劇が披露され、自転車や歩行者が交通ルールを守らなければどんな危険な目に遭うか、ハラハラドキドキの劇に児童は真剣に見入っていました。

劇を見た後は、事故の怖さ、ルールを守ることの大切さなど各学年の代表児童1人ずつに感想を述べてもらいました。終わりにレンジャー達と記念撮影をして、大いににぎわったこの日の交通安全教室でした。



ひがしたに・バザール

3月22日(土) 東谷幼稚園で福祉部会(東谷地区福祉委員会)、青少年部会、文化部会の3部会合同で当バザールを開催しました。



昼間の気温は20度近くまで上がり、イベント開催としては好スタートを切りました。

園庭ではキッチンカーや綿菓子の出店もあり、子どもたちの笑顔が列をつくりました。

最近あまり見られなくなった石臼による餅つきも、大人たちの手



を借りて子どもたちにとっては興味深々。つきたてのお餅はやはり美味しい。

多目的ホールではプロレスラー(ビリーケンキッド)による激しくも楽しい業の競り合いに、子どもたちから声援が飛びました。

あっという間の一日でしたが、子どもたちにとっては沢山の楽しい思い出ができたに違いありません。



東友会

春の親睦会の開催



東谷地区福祉委員会では東友会(ひとり暮らし高齢者の会)の春の親睦会を3月28日(金) 東谷幼稚園で開催しました。久しぶりに会うメンバーとのおしゃべりに花が

咲き、福田克也西畦野自治会長にギターの演奏と素敵な歌声、打楽器奏者若い方の福田さんのカホンによる演奏を楽しむことができました。

歌は昔のものからちょっと前の新しいものなど、高齢者の心のビタミン剤となりました。

訪問記

しまぎき助産院

島崎明代さん

助産師として、また日頃から啓発活動にも熱心に取り組んでおられる島崎明代さんにお話を伺いました。



「早いもので黒川に来て3年が経ち、250人以上の赤ちゃんがうちで誕生しました。

うちで出産された100人にアンケート調査をしたら、「出産直後にまた産みたいと思いました」86%、「出産後、自分で産んだ達成感や満足感があつた」99%、「産後、家族の絆が深まった」97%という素晴らしい結果が出ました。なので、このようなお産を今後も大切に守りたいし、増やしていきたいです。

このように幸せなはずの妊娠・出産・育児が、今の日本では、出産は恐くて痛いもの、孤独に陣痛を乗り越え、核家族やコミュニティの希薄さもあり、孤独な育児をする母親も多いのが現状です。

そして産後のうつや自殺者も増えている悲しい現状もあります。

川西市は6年前から産後ケア事業を始め、助産院での出産以外でも年間600人以上の母親と赤ちゃんが産後ケアを利用されています。

私も産後ケアをユニバーサルな取り組みとして、今後はいつでも誰でも利用できることを目指しています。育児において困っていない母親は誰一人といません。これからも母親のそばで寄り添い、支えとなり、コミュニティの場ともなれるような助産院にしたいです。

昨年度から『命の教育』を始めて、助産院のサークルのママと赤ちゃんを引き連れて、小学校・中学校・高校へも行ってきました。

緑台中学校と猪名川高校にも行きましたよ。授業では、妊娠・出産・育児の話を通して、自分自身の存在の大切さ、自分たちの生き方を見つめてもらえるようなお話をしています。これが想像以上に子どもたちのハートを掴むことができます。『結婚も出産も考えてなかったけど、わが子を抱いてみたいと本

当に思いました』『(妊娠出産に対し)ネガティブな気持ちだったけど、大変だけどそれ以上に楽しくて幸せなものだと思った』『女性の生理や子育てのことを聞いて、支えてあげられる大人になりたいと思った』『私が今ここにいられるのも奇跡なんだと思った』『否定的にならずポジティブ思考で、自分のことをもっと大切に生きようと思った』『家に帰って両親に感謝を伝えました』『人のことをもっと大切にしてみようと思った』『命は両親だけでなくみんながくれたものだと考えるようになった』など、多くの感想をもらいました。

将来助産師になりたいと話してくれたり、この活動は子どもたちの将来に影響を与えることができる!という希望を持つことができました。

これからも、地域との関りを大切にしながら、スタッフ一同、チャレンジを続けます!困った時には地域の助産院を思い出してもらえると嬉しいです。」





「コミュニティ活動に 関わって…」

東谷コミュニティ協議会では住民や在学生である中学生や高校生、大学生などの学生が活動に参加してくれています。今回、参加してくれている学生にインタビューしました。



「教育のまち」は、東谷小学校の創立の歴史や子ども食堂フリース

「良くも悪くも田舎」教育のまち」居住地域と自然が近い」などの意見

クールの存在など、具体的に答えてくださいました。

また、「コミュニティ活動に関わって、自分自身に変化があったかを尋ねると」「教師になりたい夢があった、それに役立つと思って手伝った。出会った人から刺激をもらい、教師になりたい思いが強くなった」と自身の夢につながるように参加した学生として、「地域に関わることは、人間関係の出発点」「居場所は家庭や学校だけでなく、地域がその役割になっても良いと思う」など、「地域の役割を理解して下さっている意見がありました。」

「コミュニティ活動に対しては」「地域の人間と関わる楽しさを知れた」といううれしい意見があった一方で、「発信力が不足していて、魅力があるのに発信できていなければいけない」といった意見があり、「コミュニティの存在など、具体的に答えて

ニティのイベントがあまり学生に知られていないとのことでした。

これらの解決について、少しアイデアを出してもらったところ、Instagramでの発信、広報物を不特定多数の人が目にするところへの掲示、まち全体を使ったイベントなど様々な意見がありました。

学生が地域へ参加することで、「おとなたち」よりも柔軟な意見が発信され、各活動が活性化し、地域活性化につながるのではとインタビューを通して感じました。

東谷コミュニティ協議会では、青少年部会を中心に学生に参加していただき、さらに地域が活性化できるようこれらの意見も尊重して事業を推進していきます。

インタビュー終了後学生たちは、国の制度について短い時間、活発に意見交換していました。

介護予防・健康ポイント事業 「笑顔ミライちょきん」が 始まっています

川西市では 40 歳以上の市民を対象に、介護予防活動に参加することで介護予防ポイントが、歩くことで健康ポイントがそれぞれたまる「笑顔ミライちょきん」を実施しています。今では 1,500 人以上が登録しているそうです。



東谷コミュニティ地区域内では、「プラザ・ひがしたに」で東谷地区福祉委員会が開催している「カフェ・のぞみ」への参加などで介護予防ポイントがたまります。

また、無理なく歩いて 1 か月に 16 ポイントをためれば抽選に自動的に参加でき、当選すれば 1,000 円相当のキャッシュレスポイントに交換できるポイントが獲得できます。

くわしくは、川西市のホームページをチェック！



笑顔 ミライちょきん

Giftpad wellness

郷土館だより

【講座】

園芸教室

バラやラベンダー、ガザニアなど、季節にピッタリの長く楽しめる寄せ植えを作ります。

講師 森のお花屋さん

代表 斎藤安男さん

日時 5月22日(木)

午前10時～11時30分
午後の部1時30分～3時

場所 アトリエ平通

費用 2000円(入館料含む)

持ち物 軍手・スコップ・靴袋

定員 午前・午後各20名

申込み 5月1日(木)

午前10時から電話受付
072-794-3354

(先着順)



ライアー&ハープ演奏会

地元北摂や他府県でも活躍するライアーとハープのアンサンブル。

日時 6月14日(土)

午後1時30分～2時30分

演奏所 旧平安邸 主屋座敷

ライアーズ エンド

ハープス アルメリア

ケルテックハープと
ライアーの演奏



東谷ささえあい交通
(仮称)

名称募集!!

令和7年秋皆さまの移動手段として、東谷コミュニティが車両運行開始します。

その名称を募集します。

例「東谷ささえあい交通」「キタグル」など

投稿先

○東谷コミュニティホームページ

「みみよりネット」

○東谷コミュニティ インスタグラム

「higashitanicom」DMへ

問合せ先 福田弘彦

080-5465-7688

募集期間 令和7年5月15日まで

東谷コミュニティ協議会
令和7年度総会予定

5月18日(日)

午後2時

於 東谷小学校体育館